

尚書傳のうら作製ハルエト

五 會社倒ノ態度

會社ハ職五倒ノ誠意ヲルヤ否ヤノ意向ヲ確カムハ必
誓約書ヲ讀ムルセシメタルガ本社五倒例ハ比叡的穩健
ニ獲ル後之熱心就業セシムルヲ以テヨリハ上悪化セ下ル
限リハ殊更排撃ノ態度ヲ避クル意圖ナシカ知ヤニ大
体ノ方針トシテハ先年大阪ニ於ケル爭議ノ結果ニ鑑
ニ高麗的手段ヲ避テ有利トシ今後ニ於テ又組合
入者ハ職書ノ方針ヲ採ル標權ナリ

右及申通報候也

別記第一編

森永後業負諸君に檄ス

今度會社ハ八名の入に解雇を言渡しまし多。其の故ハ會社が不景
氣ニあつたり人換りせざるといふ事ありす。一二月多分
りて新に雇入せざるの中止一多ありす。この間會社では
千五百萬圓に増資したはのりて取崩上は非常ノ不景氣の言ハ
ニ疑はるけ水増車業は却て不景氣だういふありす。又此ノ私
遣ニ與リテ株は何んぞ押込んぢ居る此の私遣ハ了手て費
つてきたとこり。五十萬圓押込まなければ五十萬圓の借入も
りありす。一二月はこう一ト強固を悉ク誤魔化しを
つてあつたり一トは事業縮少だといつて私遣の旨をやるの
ありす。了手今頃ハ八名の解雇は本一た八名ばかりの
同業の多く私遣全部の頭にあつて、つてを事業了手て了す